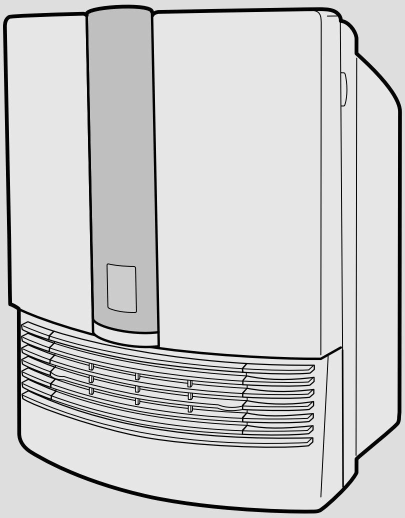
取扱説明書　　日立リビングサプライ

保証書別添付 お買い上げの販売店の記入をお受けください。　　家庭用

加湿セラミックファンヒーター

HLC-1300形

このたびは加湿セラミックファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは保証書とともに大切に保存してください。



目　次

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

●この加湿セラミックファンヒーターは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。
●地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

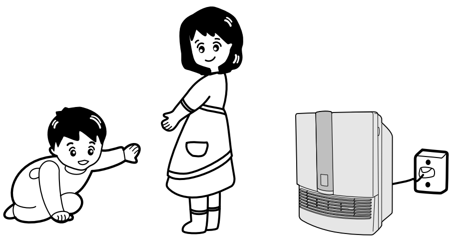
この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警　告

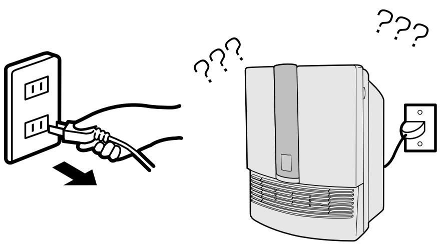
周囲の人が注意する

やけどのおそれあり。次のような方がお使いのときは、特に注意する。
◆乳幼児・皮ふ感覚の弱い方・自分で操作できない方
◆ねむけをさそう薬(睡眠薬・かぜ薬など)を服用された方
◆お年寄り・ご病人・疲労のはげしい方
◆深酒をされた方



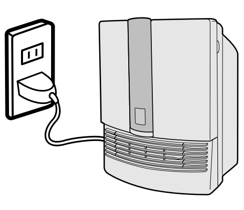
異常なときは、電源ボタンを「切」にし、さし込みプラグを抜く

●火災・感電の原因となります。
お買上げの販売店または、当社指定の「お客さまご相談窓口」にご相談ください。



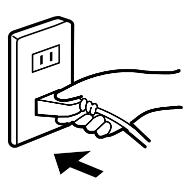
定格15A以上のコンセントを使用する

●他の器具と併用すると、コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。



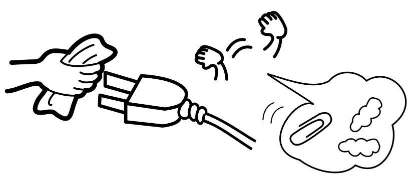
さし込みプラグは、コンセントの奥まで確実にさし込む

●感電やショートして、発煙や発火することがあります。



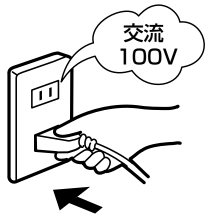
さし込みプラグのほこりやごみを定期的に取る

●湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。



交流100Vを使用する

●火災・感電の原因となります。

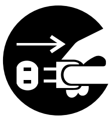


⚠ 警　告

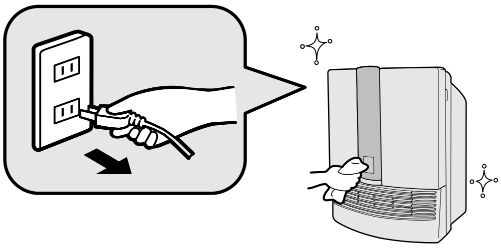
排水はさし込みプラグを抜いてから行う

排水やお手入れは、運転停止後、必ずさし込みプラグを抜いてから行う。

●感電をすることがあります。



さし込み
プラグを抜く

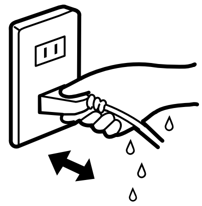


ぬれた手でさし込みプラグを抜きさししない

●感電やけがをすることがあります。

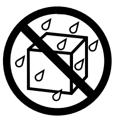


ぬれ手禁止

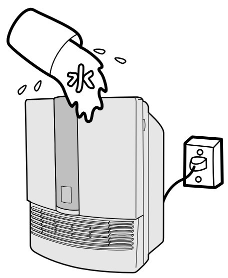


お茶や水などをこぼさない

●万一こぼれたときは、過熱・感電のおそれがありますので、ただちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。



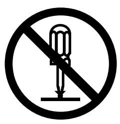
水ぬれ禁止



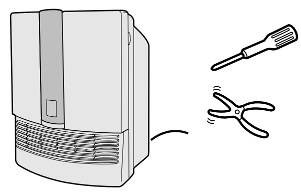
分解や修理をしない

改造しない。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしない。

●火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または、当社指定の「お客さまご相談窓口」にご相談ください。



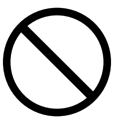
分解禁止

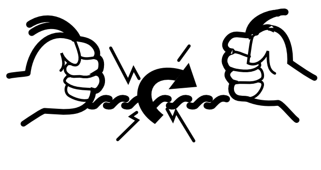


コードを乱暴に扱わない

コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重い物を挟み込んだりしない。

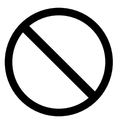
●コードが破損し、火災・感電の原因となります。

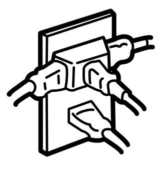




タコ足配線をしない

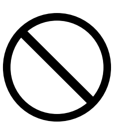
●電気容量が超え、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

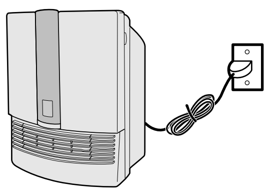




コードをたばねて通電しない

●コードが過熱し、火災・感電の原因となります。

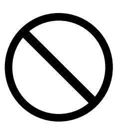


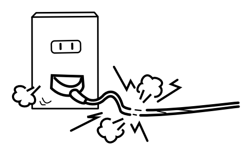


コードが傷んだときは使用しない

コードやさし込みプラグが変形・変色・損傷している、コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い、コードを動かすと通電したり、しなかったりする、また、コンセントのさし込み口がゆるいときは使用しない。

●感電・ショート・発火の原因となります。





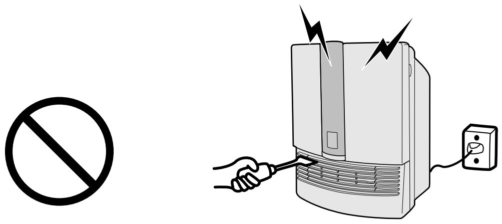
安全上のご注意

⚠ 警　告

異物を入れない

吸気口・温風吹出口・加湿風吹出口の穴やすき間にピンや針金などを入れない。

●感電や異常動作してけがをすることがあります。



お手入れに塩素系・酸素系の洗剤を使用しない

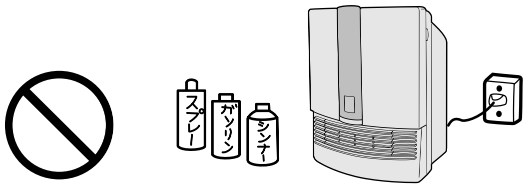
●有毒ガスが発生する原因となります。



危険物を置かない

本体の近くにスプレー缶などを置いて使用しない。

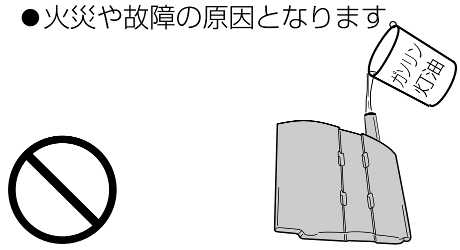
●熱でスプレー缶内の圧力が上がり、爆発や火災の原因となります。



タンクに水以外の物を入れない

ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、また40℃以上のお湯や汚れた水などは入れない。

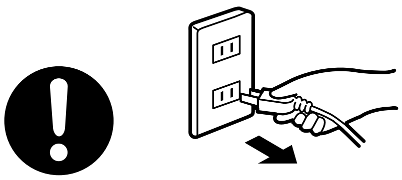
●火災や故障の原因となります。



⚠ 注　意

必ずさし込みプラグを持って抜く

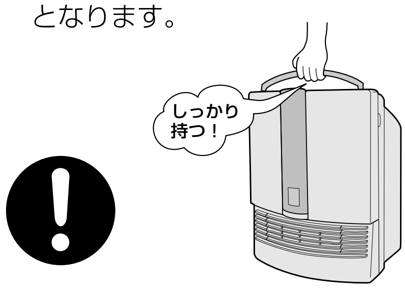
●感電やショートして発火することがあります。



ハンドルをしっかり持つ

ぬれた手でハンドルを持つときは、すべりやすいので注意する。

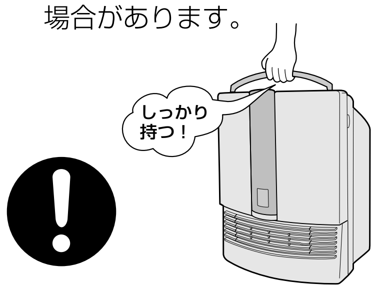
●落下すると、けがや水漏れの原因となります。



移動時は、水平に持ち運ぶ

タンクに水が入っているときは、本体を振ったり、傾けたりしない。

●傾けすぎると、水がこぼれる場合があります。



タンクの水は毎日新しい水と入れ替える

本体内部は常に清潔に保つよう定期的に掃除する。

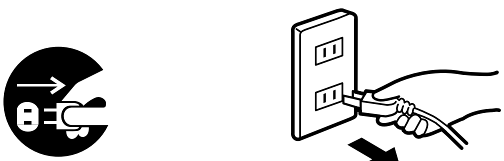
●掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。



まれに体質によっては過敏に反応し、健康によくないことがあります。
※この場合は医師に相談してください。

使用しないときは、さし込みプラグを抜く

●けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



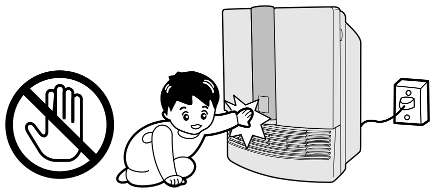
さし込み
プラグを抜く

⚠ 注　意

高温部に触れない

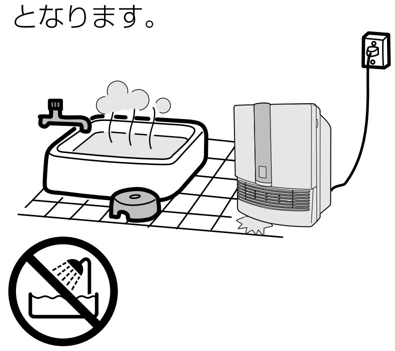
使用中や使用後しばらくは、温風吹出口などの高温部に触れない。また、温風吹出口の風向調節をしない。

●やけどの原因となります。



浴室や屋外で使用しない

●感電やショート・発火の原因となります。

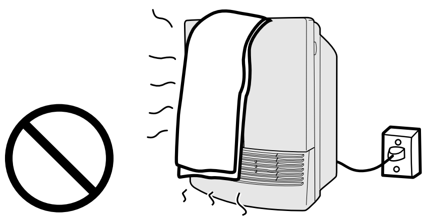


水場使用禁止

衣類などを掛けない

温風吹出口・加湿風吹出口・吸気口をふさがない。

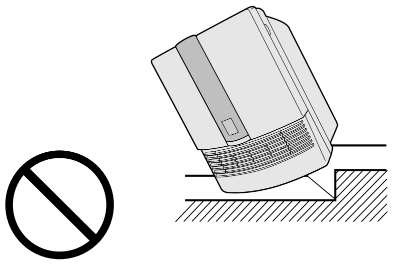
●過熱や火災の原因となります。



不安定な場所に置かない

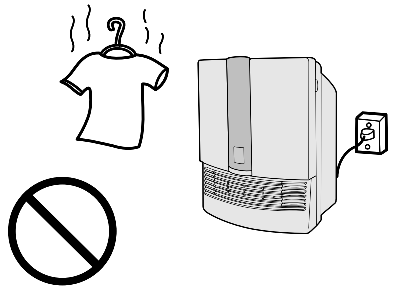
転倒すると水がこぼれます。

●感電・ショートの原因となります。



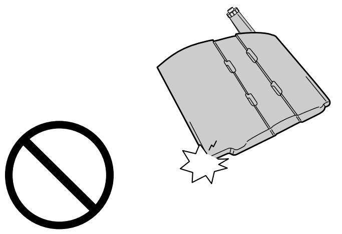
乾燥など他の用途に使用しない

●過熱して発火することがあります。



落下したタンク・本体は使用しない

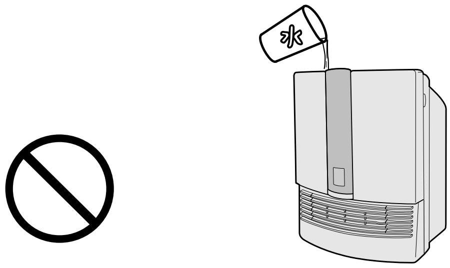
●そのまま使用すると、水もれやショート・感電・発火の原因になります。



本体に直接水を入れない

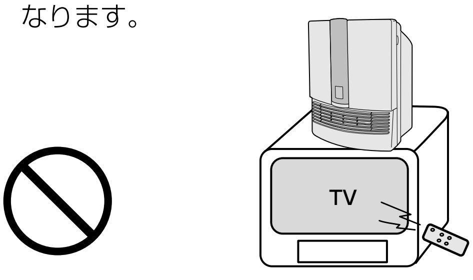
加湿風吹出口より水道水を入れない。

●絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



電気製品の上に置かない

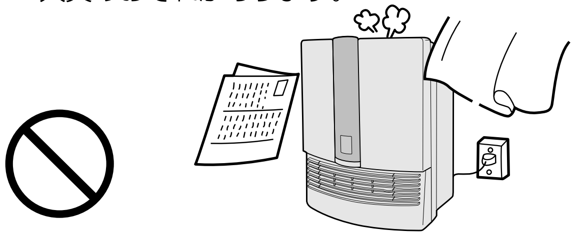
●転倒すると、感電やショートの原因となります。また、本体底面の熱により、変色・変形の原因となります。



燃えやすい物の近くで使用しない

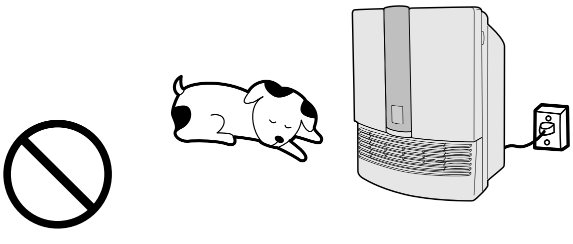
カーテンの近くや、机の下など周囲を囲まれた場所で使用しない。

●火災のおそれがあります。

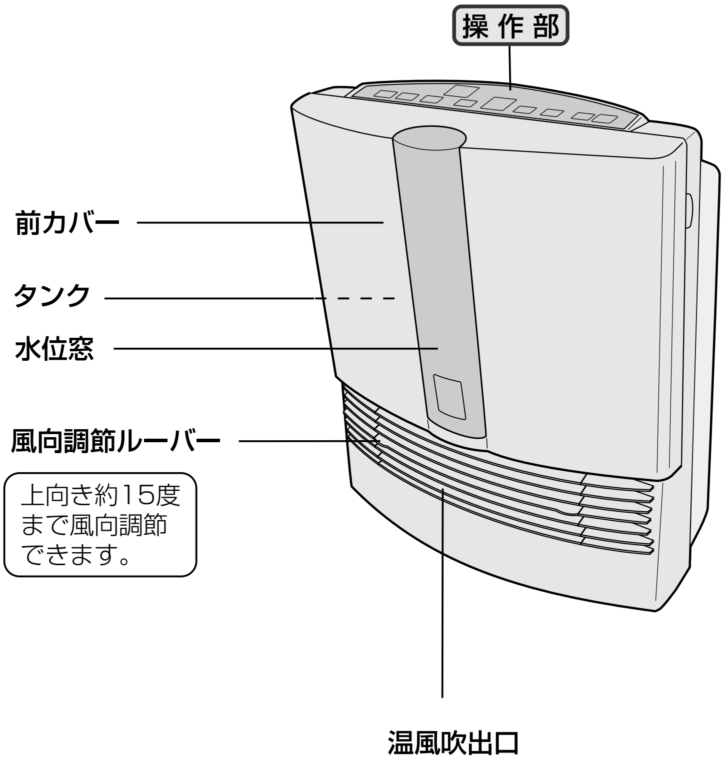


ペットの暖房用に使用しない

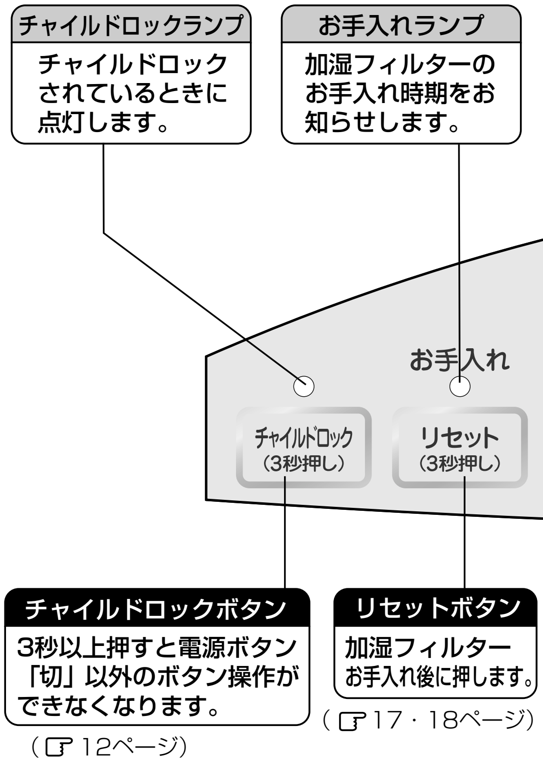
●ペットが本体やコードを傷めることがあり、火災・感電・故障の原因となります。



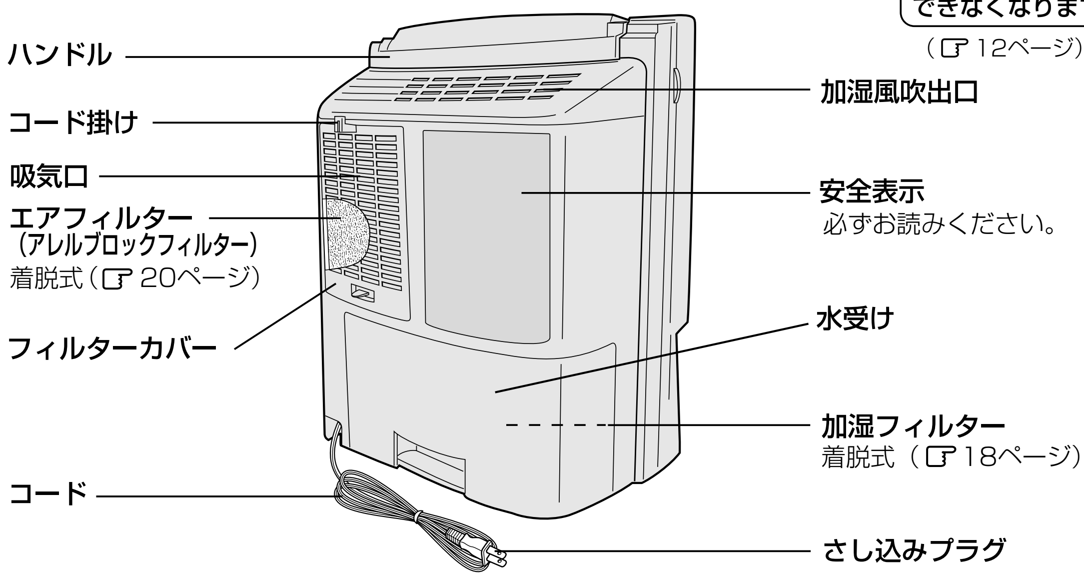
正面



操作部



裏面



アレルブロックフィルター

表面の人工酵素がフィルターでつかまえた花粉やダニの死骸などのアレルゲン物質を分解※1。
さらにフィルター上での脱臭効果※2、除菌効果※3、抗ウイルス効果※4と多機能に優れた効果のあるフィルターです。

※1　抗アレルゲン試験機関：（ダニの死骸）信州大学繊維学部にて測定。ＥＬＩＳＡ法による。
　　　　　　　　　　　　　（花　粉）　信州大学繊維学部にて測定。電気泳動法による。
※2　試験機関：（財）日本紡績検査協会　　試験方法：アンモニア、酢酸、ホルムアルデヒドによる検地管法
※3　試験機関：（財）日本紡績検査協会　　試験方法：統一試験法
※4　試験機関：大阪府立公衆衛生研究所　　試験方法：ウイルス不活化試験

入タイマーランプ
入タイマーをセットすると点灯します。

切タイマーランプ
切タイマーがセットされたときや、タイマー終了後に点灯します。

現在湿度表示ランプ
表示パネルが現在湿度を示しているときに点灯します。

電源ランプ
電源「入」のとき点灯します。

給水ランプ
タンク内の水がなくなると点灯します。

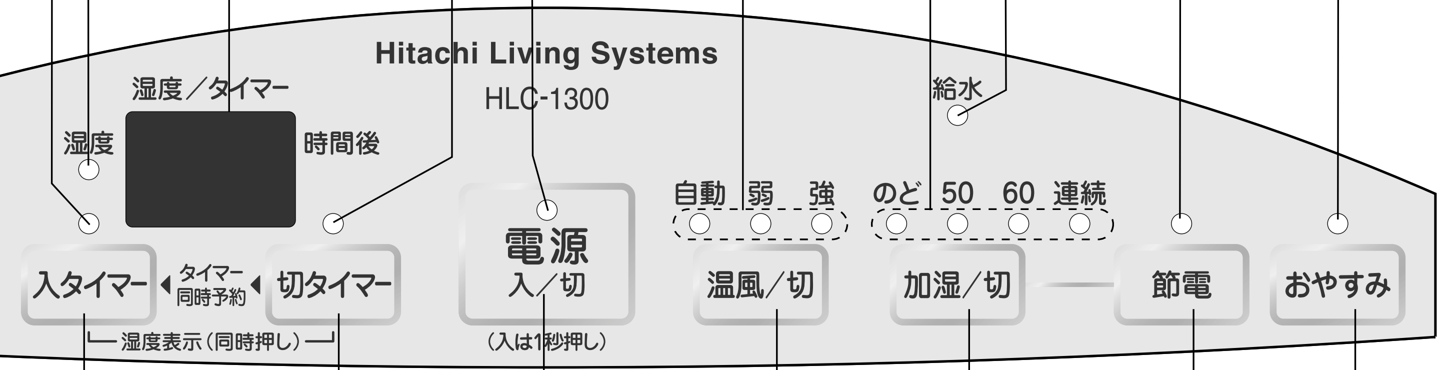
表示パネル
タイマーの設定時間と現在湿度(目安)及び異常表示をします。

温風ランプ
温風運転の状態を表示をします。

加湿ランプ
加湿運転の状態を表示をします。

節電ランプ
節電運転のとき点灯します。

おやすみランプ
おやすみ運転のとき点灯します。



入タイマー/切タイマー　ボタン
入・切タイマーの設定とタイマー運転時・温風運転時の現在湿度表示切り換えをします。
（☞12〜14ページ）

温風ボタン
温風運転の切換をします。
（☞9・11ページ）

加湿ボタン
加湿運転の切換をします。
（☞10・11ページ）

節電ボタン
加湿運転のとき節電運転に切換えます。
（☞12ページ）

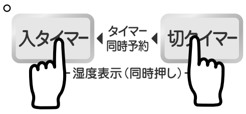
電源ボタン
電源の「入」「切」をします。
1秒以上押し続けないと、電源「入」になりません。

※各ボタン操作をしたときは、操作音（ピッ）がします。

おやすみボタン
おやすみ運転に切換えます。
（☞12ページ）

加湿運転と現在湿度表示について

加湿運転時には現在湿度の目安を、**表示パネル**にデジタル表示します。
※同じ部屋でも場所により湿度が異なるため、部屋の湿度計とは必ずしも同じになりません。
※加湿運転をしていない時は、無表示です。切タイマー運転時には、切タイマー設定時間を表示します。
現在湿度の目安を確認したい時は、入／切タイマーボタンを同時に押してください。
現在湿度を約2秒間表示して、無表示または切タイマー設定時間表示にもどります。
（入タイマー設定時には、湿度表示はできません。）
※デジタル湿度表示範囲は、30〜79%です。



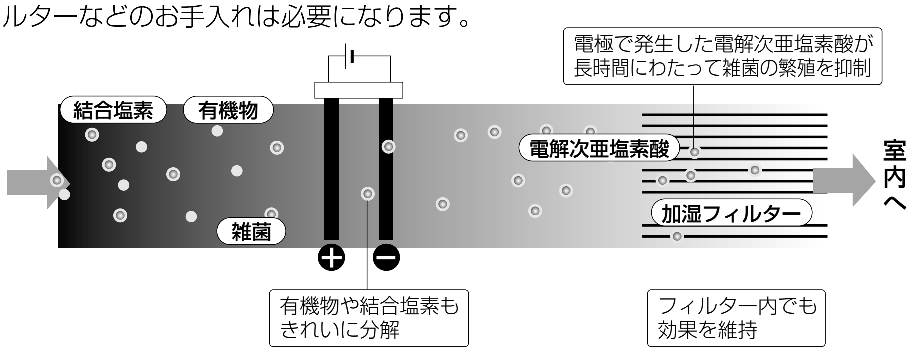
30%未満・・・・ Lo
80%以上・・・・ Hi　と表示します。

- 「連続」……現在の湿度に関係なく連続加湿します。
- 「60」……60%、「50」…50%　自動的に断続加湿をし、湿度を調節します。
- 「のど」……お部屋の温度により自動で設定湿度を変更し、湿度調節します。
  室温が低いときは、のどにやさしい高湿度（65%）
  室温が高いときは、低湿度（55%）

電解水除菌システムで清潔加湿

この製品は、水道水の塩素イオンを利用した電気分解で生成する次亜塩素酸により除菌するシステムを採用しています。
ただし、水道水中の塩素イオン濃度が低い場合は、除菌効果が弱くなるので、使用環境によりカビや悪臭が発生する場合があります。その場合はお手入れをこまめに行ってください。
抗菌・防カビ素材を採用した加湿フィルターとともに清潔な加湿※1を実現しました。

※1 加湿フィルターなどのお手入れは必要になります。



お願い

- **必ず水道水（飲用）をそのまま使用してください。**
  【ご注意】浄水器の水・アルカリイオン水・ミネラルウォーター・井戸水などは使用しないでください。
  除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。
- **運転中以外は電解水除菌を行いません。長時間ご使用にならないときは必ずタンク・水受けの水を捨ててください。**

お知らせ

- 電解水除菌システムとは、プールやカップ式の自動販売機でも広く採用されている除菌方式です。
- 電解水除菌システムは、加湿フィルターや本体内の水受けなどへの除菌効果を目的としています。
  お部屋の空気や本機以外のものには、除菌効果はありません。

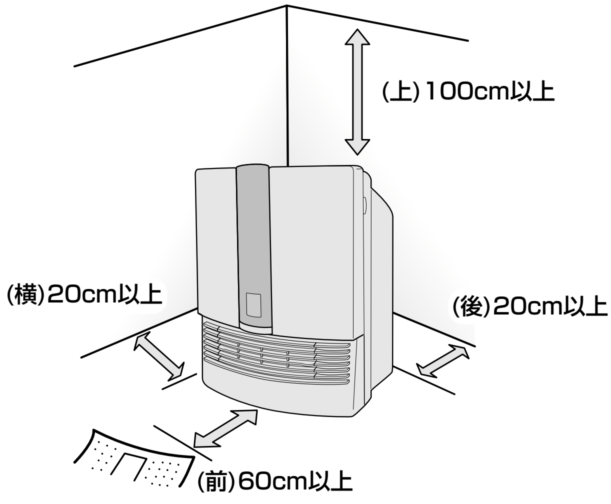
※電解水除菌システムの効果は（財）日本食品分析センターの調べによる。（試験方法：寒天平板培養法）

ハイブリッド気化式加湿について

この製品は、加湿フィルターに含ませた水を温風または、送風により気化させる加湿方式のため、加湿風吹出口からは湯気（蒸気）は見えません。

使用場所と電源について

- 右図のように周囲から離して使用する。
- 腐食性のガス（硫化ガス・塩素ガス）を吸い込むところや、湿気・ホコリ・油の多い場所で使用しない。
- 壁・カーテン・家具などの近くで使用しない。
- 電源は、さし込み口にがたつきのない、定格15A（1500W）以上のコンセントまたは、延長コードを単独で使用する。



【消防法　基準適合】

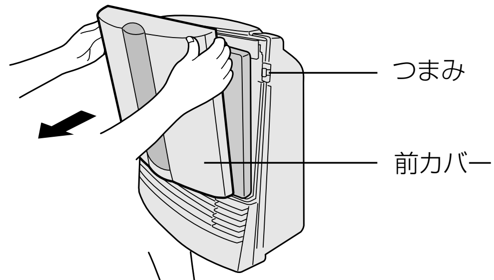
お知らせ

運転中はコードがあたたかくなりますが、故障ではありません。

加湿をご使用の前に…… タンクに水を入れる

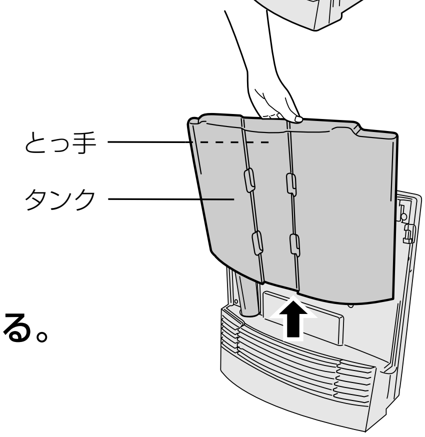
❶ 前カバーをはずす。

上部つまみ（左右2カ所）を押さえ、手前に引いてください。



❷ タンクを取り出す。

とっ手を持って少し手前に引いてから上に持ち上げます。

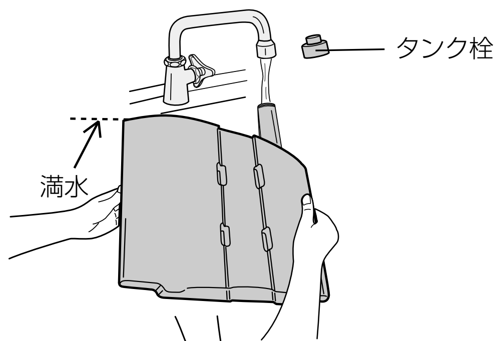


❸ タンク栓を左に回してはずし、タンクに水を入れる。

- **必ず水道水（飲用）をそのまま使用してください。**
- 満水以下で注水してください。
- 注水後はタンク栓を確実に締め、水がもれないことを確認してください。こぼれた水は乾いた布でふき取ってください。

必要以上に強く締めないでください。水がもれる場合があります。

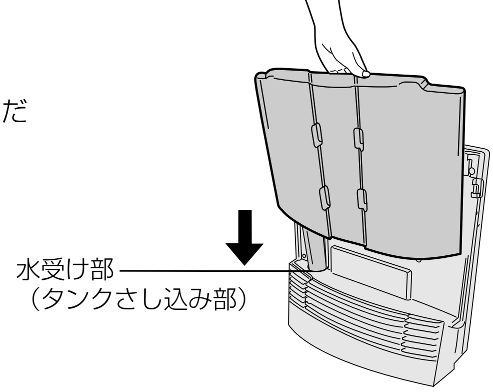
⚠警 告	**ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、また40℃以上のお湯や汚れた水などは入れない。** 火災や故障の原因となります。



❹ タンクを本体にセットする。

タンクは落としたりしないで、ゆっくりとセットしてください。
タンクが傾いていないことを確認してください。

タンクの着脱を繰り返すと、水受けの水量が増しますので、着脱は繰り返さないでください。

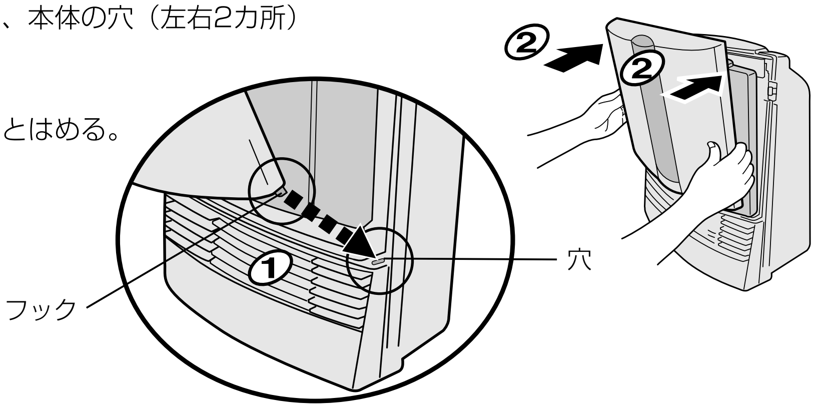


❺ 前カバーを本体に取り付ける。

① 前カバー下部左右のフックを、本体の穴（左右2カ所）に入れる。

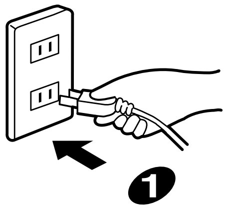
② 上側両端を押して「カチッ」とはめる。

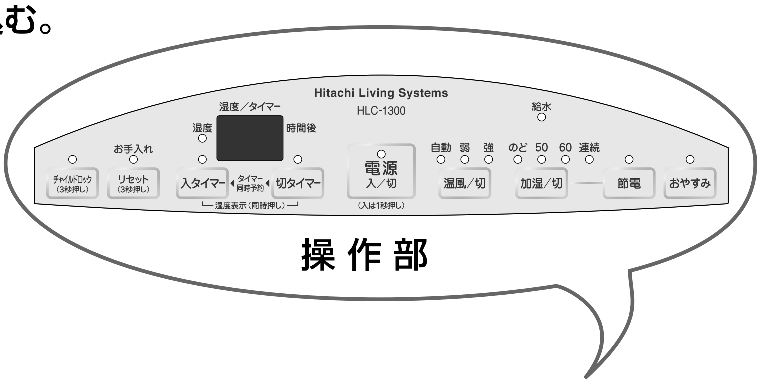
確実に取り付けてください。



使いかた 温風運転

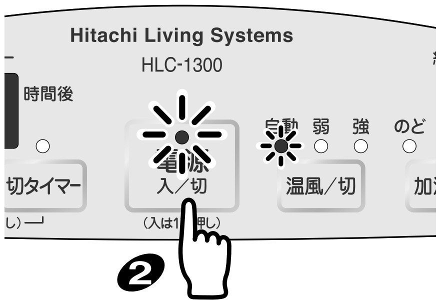
❶ さし込みプラグをコンセントにさし込む。





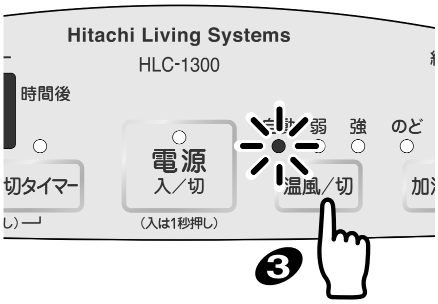
❷ 「電源ボタン」を1秒以上押して「入」にする。

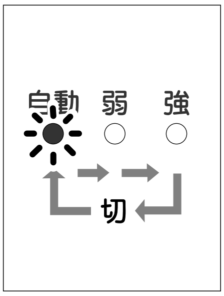
● 1秒以上押し続けないと、電源「入」になりません。
● 電源ランプと温風の自動ランプが点灯します。



❸ 「温風ボタン」を押し、お好みの温風運転に切り換える。

● 温風ボタンを押すたびに、図のように「自動」「弱」「強」「切」と運転が切り換わります。





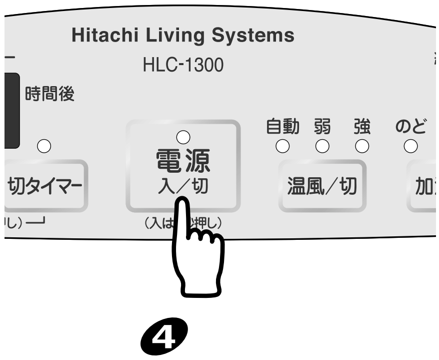
自動 ・・室温に応じて、「強」・「弱」・「送風」のいずれかに自動的に運転を切り換えます。
⇩
弱 ・・「弱」の温風運転をします。
⇩
強 ・・「強」の温風運転をします。
⇩
切 ・・温風運転を停止します。（電源ランプのみ点灯）

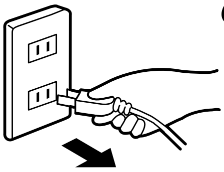
自動運転について

室温が高く、「送風」状態が約10分間続くと運転を停止しますが、室温が低下すると運転を再開します。
（電源ランプと自動ランプは点灯したままです。）

❹ 使用後、「電源ボタン」を押して「切」にする。

● チャイルドロックを除く全てのランプが消灯し、しばらく送風した後、運転停止します。
● 外出時や長時間使用しないときは、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。





使いかた 加湿運転

※加湿運転の前に、8ページの「加湿をご使用の前に」をご覧ください。

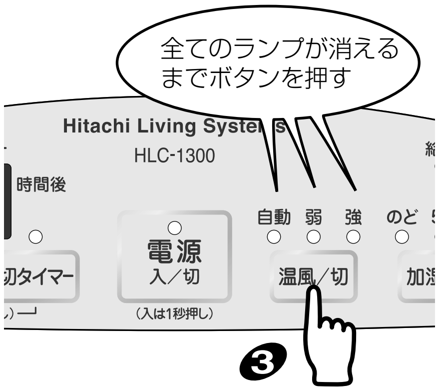
1 さし込みプラグをコンセントにさし込む。 （☞ 9ページ）

2 「電源ボタンを1秒以上を押して「入」にする。 （☞ 9ページ）

- 1秒以上押し続けないと、電源「入」になりません。
- 電源ランプと温風の自動ランプが点灯します。

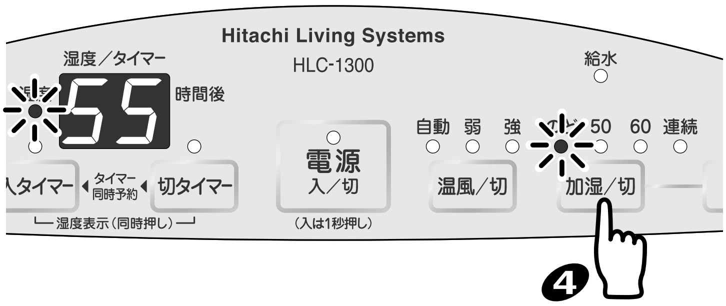
3 「温風ボタン」を押し、温風運転を停止する。（☞ 9ページ）

温風ランプが消灯するまで、「温風ボタン」を押します。



4 「加湿ボタン」を押し、お好みの加湿運転に切り換える。 （☞ 5~6、11ページ）

加湿の のどランプと現在湿度表示ランプが点灯し、「表示パネル」に現在湿度の目安を表示します。

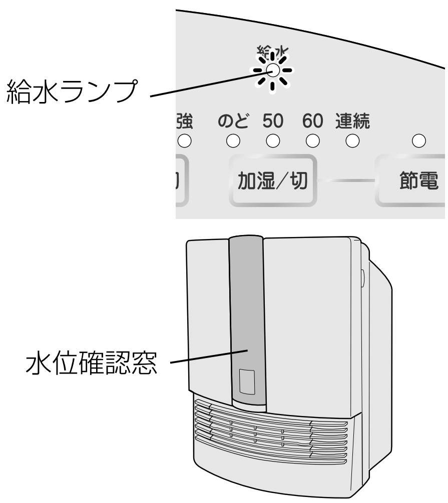


5 使用後、「電源ボタン」を押して「切」にする。 （☞ 9ページ）

- チャイルドロックを除く全てのランプが消灯し、しばらく送風した後、運転停止します。
- 外出時や長時間使用しないときは、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。

加湿運転中にタンクに水がなくなったら

- 加湿運転は自動停止します。
- 警告音がなり、**給水ランプ**が**点灯**して、給水をお知らせしますので給水してください。（☞ 8ページ）
- 給水ランプ点灯時に加湿ボタンを押すと警告音がなり、加湿運転できません。（☞ 16ページ）
- 給水後、電源ボタンを入れ直すことにより運転を再開します。



数日間ご使用にならなかったときは、タンクの水を入れ替え、水受け・加湿フィルターを清掃してください。（☞ 17ページ）

使いかた 温風+加湿運転

※加湿運転の前に、8ページの「加湿をご使用の前に」をご覧ください。

❶ さし込みプラグをコンセントにさし込む。 （☞9ページ）

❷ 「電源ボタン」を1秒以上押して「入」にする。 （☞9ページ）

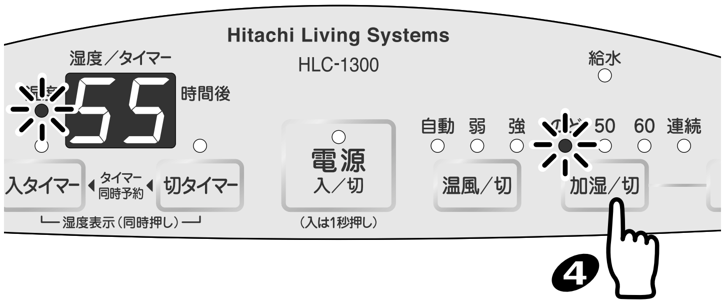
- 1秒以上押し続けないと、電源「入」になりません。
- 電源ランプと温風の自動ランプが点灯します。

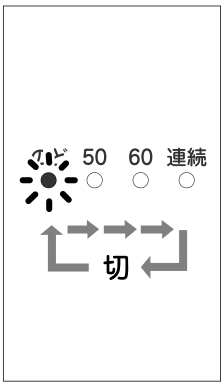
❸ 「温風ボタン」を押し、お好みの温風運転に切り換える。 （☞9ページ）

お好みの運転の温風ランプが点灯します。

❹ 「加湿ボタン」を押し、お好みの加湿運転に切り換える。

- 加湿の のどランプと現在湿度表示ランプが点灯し、「表示パネル」に現在湿度の目安を表示します。（☞5～6ページ）
- 「加湿/切ボタン」を押すたびに、図のように「のど」「50」「60」「連続」「切」と運転が切り換わります。

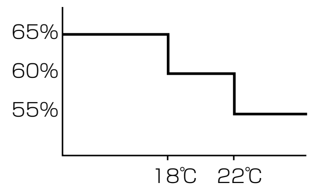




- のど ・・室温により設定される湿度に保持するよう断続加湿します。(右図)
- 50 / 60 ・・設定湿度に保持するように断続加湿します。
- 連続 ・・湿度に関係なく連続加湿します。
- 切 ・・加湿運転を停止します。

のど運転について

室温が低いときは、のどにやさしい高湿度に設定し、室温が高くなると設定湿度を低くします。



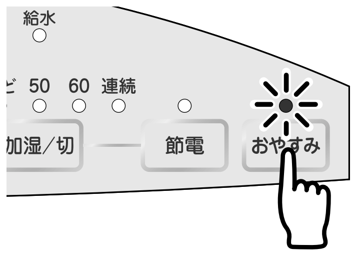
- 「満水」で約6.8時間、連続使用することができます。
- 給水について （☞8ページ）
- 給水ランプ点灯時に加湿ボタンを押すと警告音がなり、加湿運転できません。（☞16ページ）

❺ 使用後、「電源ボタン」を押して「切」にする。 （☞9ページ）

- チャイルドロックを除く全てのランプが消灯し、しばらく送風した後、運転停止します。
- 外出時や長時間使用しないときは、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。

使いかた その他の運転

おやすみ運転



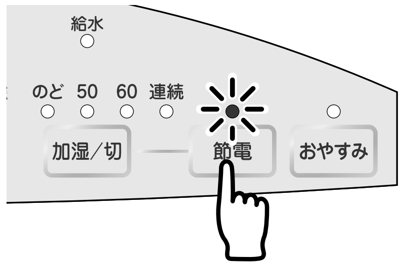
運転音を抑えた運転を行います。

温風運転・加湿運転・温風＋加湿運転時に「おやすみボタン」を押すとおやすみランプが点灯し、おやすみ運転になります。

解除するときは、再度「おやすみボタン」を押してください。

●暖房能力、加湿能力は低下します。

節電運転



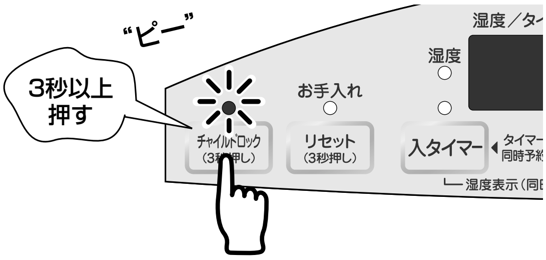
加湿運転時に消費電力を抑えた運転を行います。

加湿運転の時のみ「節電ボタン」を押すと、節電ランプが点灯し、節電運転になります。

解除するときは、再度「節電ボタン」を押してください。

●運転音は大きくなりますが、加湿能力は低下します。
●加湿運転時のみ作動し、「温風＋加湿」運転時には使用できません。警告音がなり、お知らせします。（☞ 16ページ）

チャイルドロック

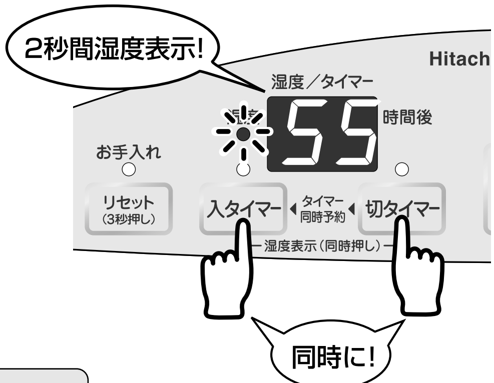


電源「切」以外のすべての操作がロックされます。

「チャイルドロックボタン」を約3秒以上押すと「電源ボタン」以外のボタン操作がロックされます。

解除するときは、再度「チャイルドロックボタン」を3秒以上押してください。

現在湿度の表示について



加湿運転をしているときは、表示パネルに現在湿度の目安をデジタル表示します。

加湿運転時のみ湿度表示されます。

温風運転、タイマー運転時に現在湿度の目安を確認したい時は、「入タイマーボタン」と「切タイマーボタン」を同時に押してください。

約2秒間現在湿度(目安)を表示してから、もとの状態にもどります。

(運転停止時には湿度表示はできません)

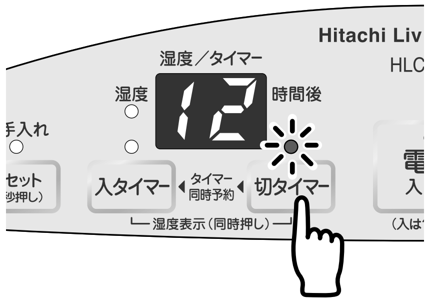
必ず両方のボタンを同時に押してください。
ずれて押されると、タイマーの設定となり、現在湿度の目安が表示されません。
この場合、一度電源ボタンを「切」にし、タイマー設定を解除してください。

いずれの場合も、まずお好みの運転状態にします。

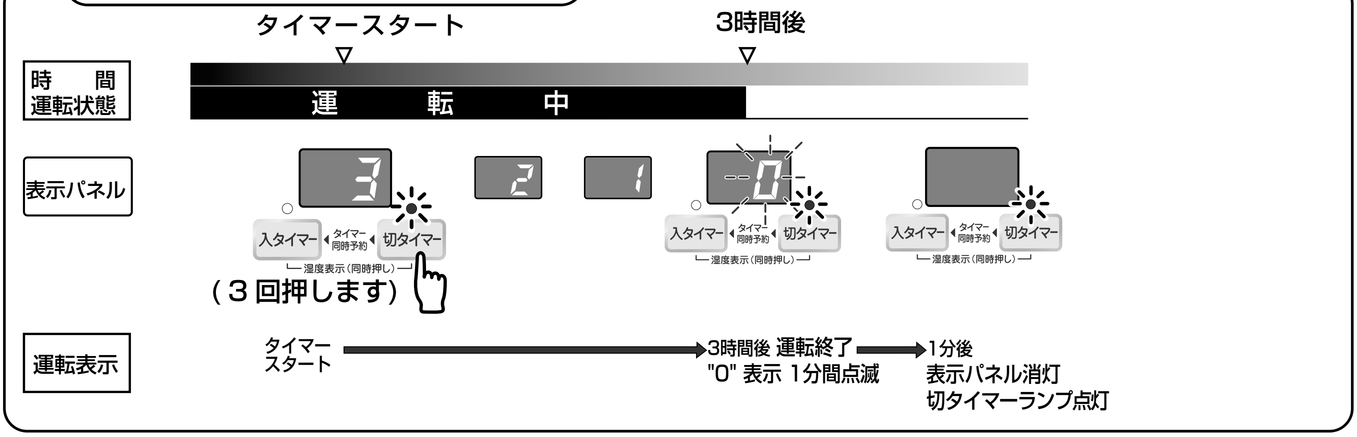
切タイマー

※ 設定した時間が経過すると、運転を停止します。

■「切タイマーボタン」を押す。
- ●切タイマーランプが点灯します。
- ●切タイマーボタンを押すたびに表示パネルの設定時間が1時間単位で変わります。（最長12時間）
  ※ボタンを押したままにすると速くかわります。
- ●切タイマー設定時の表示パネルは、運転停止までの時間を表示し、時間の経過につれて1時間ずつ減ります。



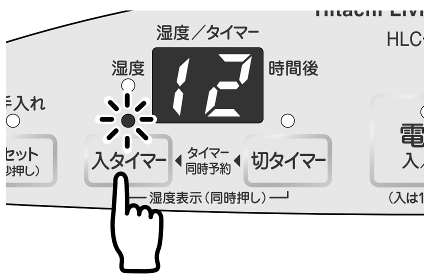
例：3時間後に運転を停止させたいとき



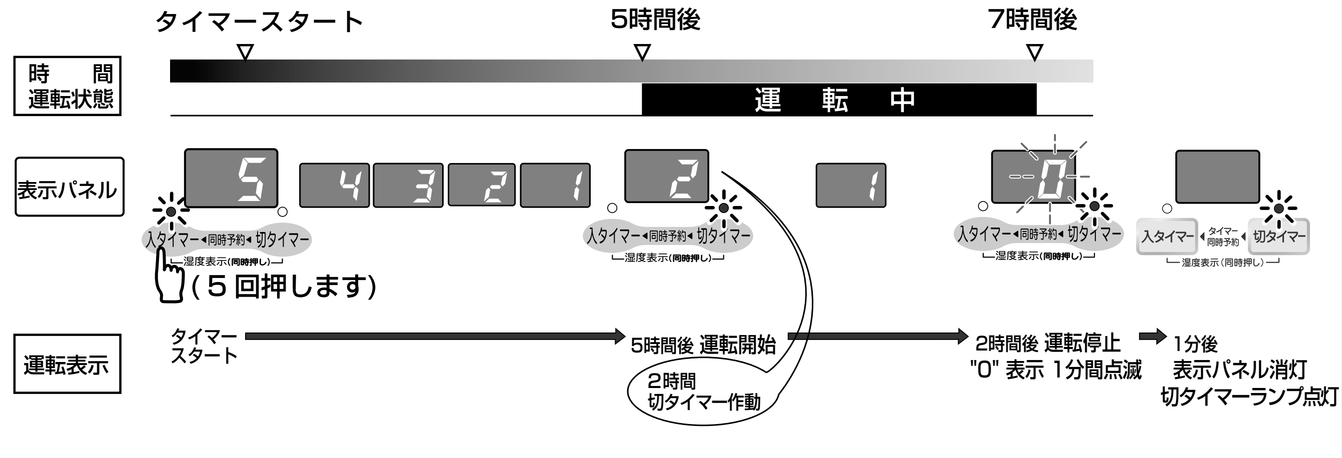
入タイマー

※ 設定した時間が経過すると、運転を開始します。

■「入タイマーボタン」を押す。
- ●入タイマーランプが点灯します。
- ●入タイマーボタンを押すたびに表示パネルの設定時間が1時間単位で変わります。（最長12時間）
  ※ボタンを押したままにすると速くかわります。
- ●入タイマー設定時の表示パネルは、運転開始までの時間を表示し、時間の経過につれて1時間ずつ減ります。



例：　5時間後に運転を開始させたいとき



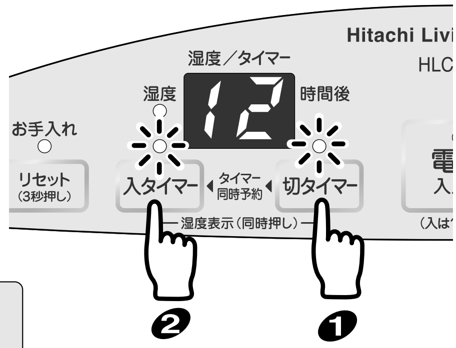
＊「入タイマー」で運転を開始したときは、切り忘れ防止のため、2時間後に運転を停止する「切タイマー」がはたらきます。

同時予約タイマー

※切タイマーと入タイマーを組み合わせて使います。

❶「切タイマーボタン」を押す。
❷「入タイマーボタン」を押す。

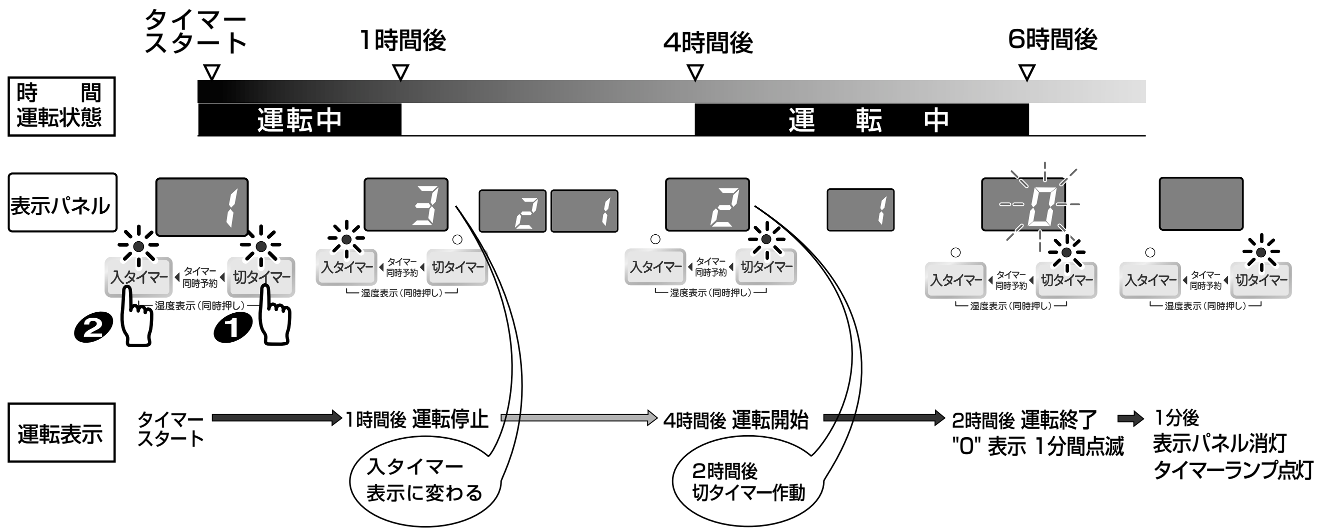
● 約2秒間入タイマーの設定時間を表示してから、切タイマーの設定時間表示になります。



「入タイマー」は、「切タイマー」より長い時間しか設定できません。
例：「入タイマー」設定 4時間 のとき「切タイマー」設定は 1～3時間 です。

例：1時間後に運転を停止させ、4時間後に再び運転を開始させたいとき

❶「切タイマーボタン」を1回押す。
❷「入タイマーボタン」を3回押す。



＊「入タイマー」で運転を開始したときは、切り忘れ防止のため、2時間後に運転を停止する「切タイマー」がはたらきます。

タイマー運転について

● タイマーの設定時間を変えたいとき
切タイマーボタンまたは、入タイマーボタンで設定し直してください。
12時間を超えると、時間表示が消え、連続運転になります。

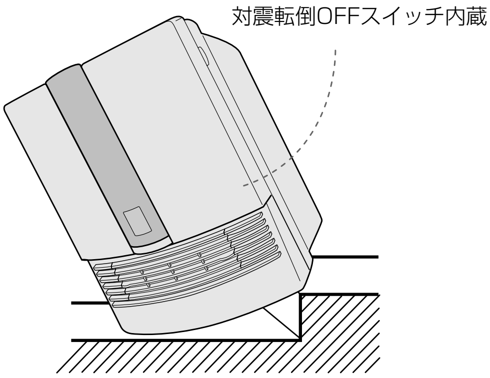
● 途中でタイマー運転を止め、連続運転にしたいとき
電源ボタンを「切」にした後、もう一度「入」にしてください。

● 同時予約タイマーの時間表示について
切タイマー時間を表示しています。
入タイマーの設定時間を確認したいときは、入タイマーボタンを短時間押してください。
約2秒間だけ設定時間を表示してから、切タイマーの時間表示にもどります。
入タイマーボタンを押し続けると、設定時間が変りますのでご注意ください。

● タイマー停止時の表示について
タイマーで運転が停止したことをお知らせするため、運転停止後も切タイマーランプが点灯しています。

使用上のご注意

対震転倒OFF（オフ）スイッチについて



本体を倒す、傾ける、ゆらすなどすると対震転倒OFFスイッチがはたらき、運転を停止します。

- 表示パネルに〔US〕と電源ランプが点滅します。
- 平らな場所に置き直し、電源ボタンを押して「切」にしてから、再度「入」にしてください。

⚠ 注 意	**加湿トレイの水がこぼれた場合は、さし込みプラグをコンセントから抜いて床面や本体水受け部周囲についた水をふき取ってください。**

メモリー（記憶）機能について

さし込みプラグをコンセントにさし込んでいるときは、電源ボタンを「切」にしても切る前の運転状態を記憶しています。

- 電源ボタンを「入」にするだけで、切る前の運転状態になります。
- タイマーの設定は記憶されません。
- 給水ランプが点灯したときの加湿運転の設定は記憶されません。
- 電源ボタンが「切」でも、設定状態を記憶するため約1Wの電力を消費しています。



さし込みプラグを抜くと、記憶されている内容は消えます。

温度過昇防止器について

誤った使いかたをすると、内蔵の温度過昇防止器（サーミスター）がはたらき、運転を停止します。

温度過昇防止器（サーミスター）がはたらく原因

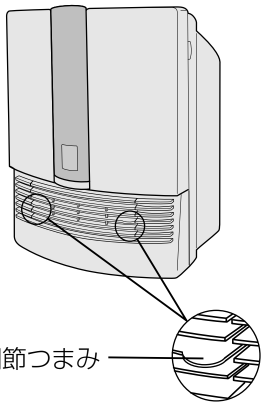
- 近くに他の暖房器具などがある。
- エアフィルターが汚れてつまっている。
- 吸気口がふさがれている。
- 温風吹出口付近に障害物がある。
- 机の下など狭い囲まれた場所で使用している。

温度過昇防止器（サーミスター）がはたらいた場合

① 電源ボタンを「切」にし、さし込みプラグを抜いて、本体をよくさます。

② 点検をして、温度過昇防止器がはたらいた原因を取り除く。

風向調節するとき



風向調節ルーバーで調節できます。

調節つまみを持って上下に動かします。(水平～上向き約15度まで)
※調節範囲以上に動かさないでください。

⚠ 注 意	**使用中や使用後しばらくは、温風吹出口(ルーバー)が高温となるので触れない。**

音とにおいについて

- **操作部からカチッと音がするのは、**送風機やヒーターを作動させるときの音で、故障ではありません。
- 初めて加湿運転をされるときは、においが出ることがありますが、ご使用にともない出なくなります。
- 水が腐り、においの原因となりますので、加湿運転を使用しないときはタンクと本体（水受け）の水を捨ててください。

凍結・結露について

- 凍結のおそれがあるときは、タンクと本体の水を捨ててください。
  そのままにすると、破損・故障の原因となります。
- タンク・水受け内の水が凍結した状態で運転しないでください。
- 冷たい水を入れると、タンク表面に露がつくことがあります。
  乾いた布でふいてください。

警告音について

※次のようなときには、警告音が鳴ります。

- タイマーの操作を誤ったとき・・・・・・・・ “ピピーピピーピピーピピーピピー” (☞ 13・14ページ)
- 給水時・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ “ピーピーピーピーピー” (☞ 8ページ)
- 異常時、故障時・・・・・・・・・・・・・・・ “ピーピーピーピーピー” (☞ 21ページ)
- 給水が必要なときに加湿操作を行ったとき・・ “ピピーピピーピピーピピーピピー” (☞ 10・11ページ)
- 温風＋加湿運転時に節電ボタンを押したとき・ “ピピーピピーピピーピピーピピー” (☞ 12ページ)

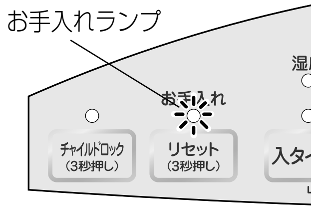
雑音防止について

ラジオ・ＡＶ機器・補聴器・電話・パソコン(ワープロ)などを近付けて使用すると雑音が入ることがあります。
このようなときは、本体から50cm以上離してご使用ください。また、他のコンセントをご使用ください。

お手入れと保管

お手入れのときは、必ずさし込みプラグをコンセントから抜いてください。
感電やけがをするおそれがあります。

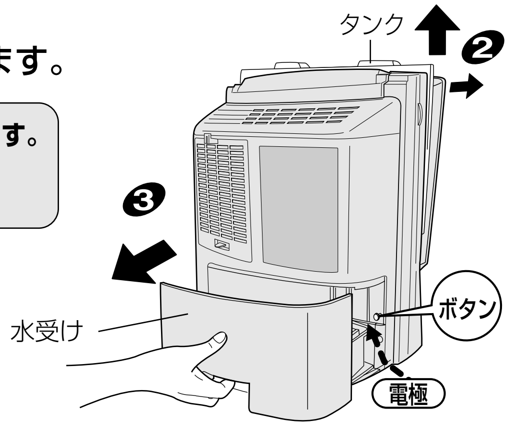
加湿運転を 2 週間程行うとお手入れランプが点灯し、加湿フィルターと水受けのお手入れ時期をお知らせします。（お手入れランプが点灯していなくても3週間に1回はお手入れをしてください）
※お手入れランプが点灯しても運転は停止しません。
※ご使用の状況によりお手入れランプの点灯時期は異なります。



水受け

1 運転を停止し、さし込みプラグを抜いて、本体を冷ます。

コンセントがつながったまま水受けをはずすと、警告音でお知らせします。
本体内部に電極部があり、触れると故障の原因となります。
本体内に手を入れないようご注意ください。

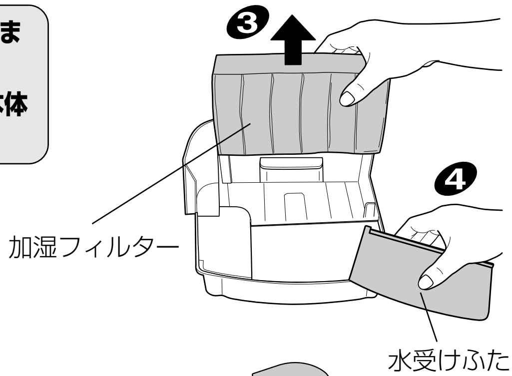


2 タンクを取り出す。

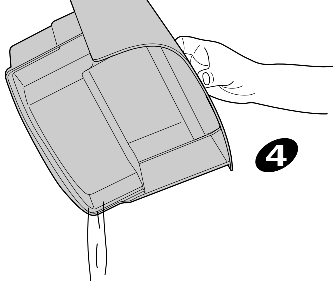
(タンクのはずしかた ☞ 8ページ)

3 水受けをはずし、加湿フィルターを取り出す。

- **加湿フィルターは水分を多量に含んでいます。取り出すときは、水がたれますのでバケツなどを用意し、その中に加湿フィルターを入れてください。**
- **水受けをはずしたとき、右上図のボタンを押さえないでください。また、本体内部に手を入れないでください。電極に触れると故障の原因となります。**



4 水受けふたをはずし、水受けに残った水を捨てる。



5 水洗いをし、汚れをふき取る。

やわらかい布で、水あかなどの汚れをふき取ります。

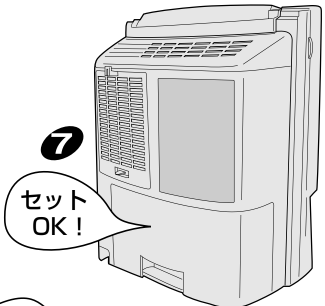
洗剤を使用しない。

6 加湿フィルターをお手入れする。

(加湿フィルターのお手入れ ☞ 18ページ)

7 水受けに加湿フィルターと水受けふたをセットし、本体にさし込む。

水受けを取り付けるときは、奥まで押し込んでください。
奥まで入っていないと通電しないことがあります。そのとき表示パネルは U8 が点滅します。(異常表示について ☞ 21ページ)

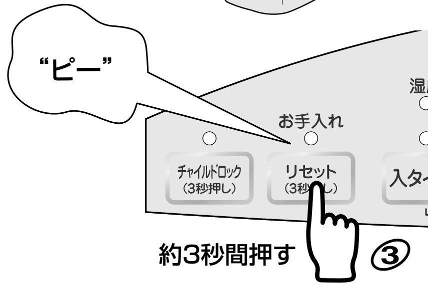


お手入れの後

① タンク・前カバーをセットする。（☞ 8ページ）
② さし込みプラグをコンセントにさし込む。
③ 操作部の『リセットボタン』を約3秒間押す。

お手入れランプが消灯します。

※お手入れランプが点灯していない場合でも、お手入れ後は『リセットボタン』を操作音“ピー”が鳴るまで、約3秒間押し続けてください。



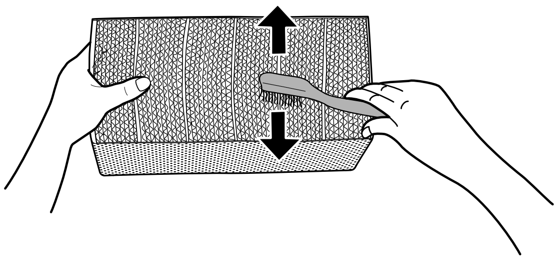
加湿フィルターのお手入れ

❶ 軽くすすぎ洗いをしてください。

❷ 表面についた水あかを歯ブラシなどで軽くこすり落としてください。

❸ ❶～❷の手順を3～4回くり返してください。

❹ 最後に再び水洗いですすいでください。



- 加湿フィルターの洗浄には、洗剤やクエン酸を使用しないでください。（抗菌の効果がなくなります）
- 表面を強くこすったり、波形状をつぶさないように取扱いにご注意ください。
- 使い続けるうちに加湿フィルターが変色しますが、これは水道水中の不純物（鉄・カルシウム・マグネシウムなど）や空気中のほこりなどによるものですので、使用上の不具合はありません。
- 表面に水あかが残っていても使用できますが、1シーズン（約6ヶ月）を目安に交換してください。

加湿フィルターにごみや汚れが付着すると加湿能力の低下や、雑菌の繁殖による悪臭の原因になります。

加湿フィルターの交換について

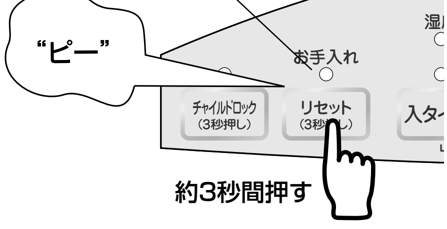
交換時期について

1シーズン（約6ヶ月）に1回交換してください。
運転状態や使用頻度によって汚れ具合が異なります。

- 交換のしかたは、別売の交換用加湿フィルターの箱に記載の説明書をご覧ください。
- 使用済の加湿フィルターは水分をよく取り除き、不燃ゴミとして捨ててください。

リセットボタンについて

- **加湿フィルターを交換したときは、必ずリセットボタンを3秒以上押してください。**
  操作音が"ピー"と鳴ります。
- お手入れランプが**点灯・消灯にかかわらず**、フィルター交換後は必ずリセットボタンを押してください。



交換用加湿フィルターについて

お求めは、お買上げの販売店でお買い求めください。

形式： HLC−13F
本体希望小売価格：1680円(税込)
(希望小売価格は2006年10月現在のものです。)

お手入れと保管

タンクの水は毎日新しい水と入れ替える。 においの原因となります。

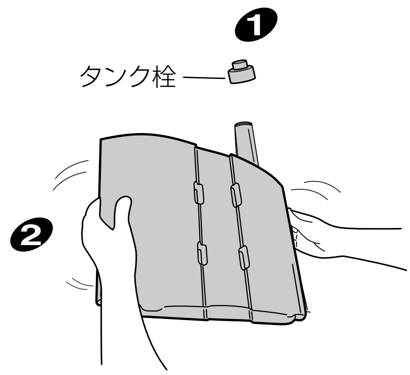
タンク

1. 本体から取り出し、タンク栓をはずし残りの水を捨てる。
(タンクの取り出しかた ☞8ページ)

2. 新しい水道水を半分程度入れ、振り洗いをする。

2〜3回行ってください。

3. タンク栓や取付部も、水洗いしてください。



※洗剤を使用しない。
※長時間洗浄しないで使用すると、水あかなどの原因となりますので、定期的に行ってください。



タンク栓について

タンク栓内部のパッキンは、消耗品です。
長期間使用され水がもれる場合は交換してください。
お買上げの販売店にご相談ください。

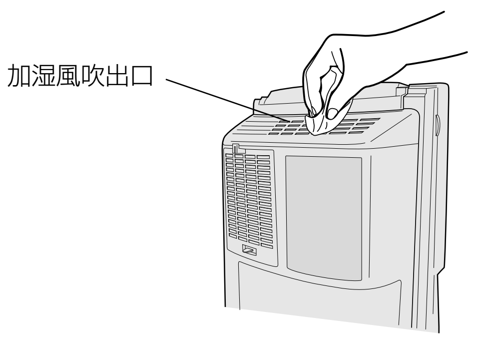
タンク栓（キャップ組立）

本体希望小売価格:630円(税込)
(価格は2006年10月現在のものです。)

週1回以上、お手入れを！ 汚れがひどくなると、においの発生の原因となります。

加湿風吹出口

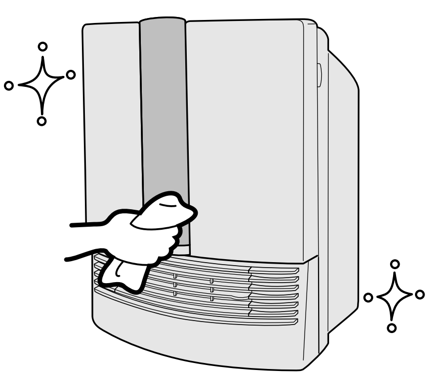
加湿風吹出口についた汚れは、やわらかい布で軽くふき取る。



本 体

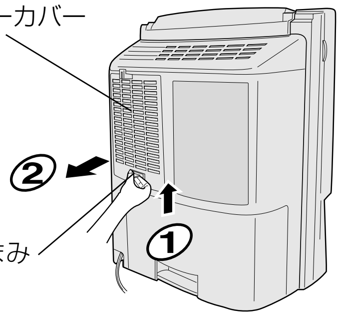
乾いたやわらかい布で軽くふく。
※汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤（食器用）を布にふくませ、固くしぼってふく。

シンナー・ベンジンなどの揮発性の溶剤は使用しない。
本体を傷めます。



2週間に1回以上、お手入れを！　**エアフィルターがつまると暖房能力が低下します。**

エアフィルター

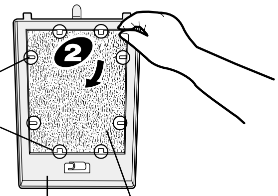


❶ フィルターカバーをはずす。

① フィルターカバーのつまみを上に押し上げ、

② 手前に引く。

❷ フィルターカバーに取り付けてあるエアフィルターを、手前に引いてはずす。



❸ ホコリやゴミは、掃除機で吸いとるか、軽く手でたたいて取る。
※汚れがひどい場合は、水で軽く押洗いをし、水をよくきってから日かげで干す。

洗剤を使用しない。

❹ 掃除後は、フィルターカバー(8カ所のフック)に取り付けて、本体に取り付ける。

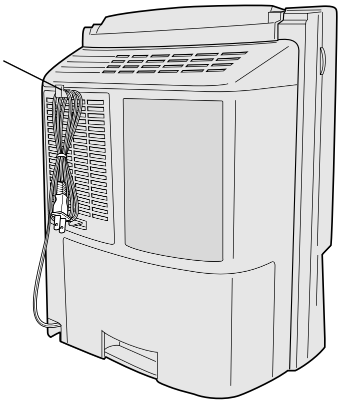
エアフィルターをはずしたまま使用しない。
故障の原因になります。

エアフィルターについて

水洗い後は、抗アレルギー・抗菌効果が少なくなりますが、そのままフィルターとしてお使いいただけます。
効果を望まれる場合には、お買上げの販売店で「 HLC-1300のエアフィルター 」とご指定のうえ、お買い求めください。

本体希望小売価格:630円(税込)
(価格は2006年10月現在のものです。)

保　管



- 排水後よく水切をして自然乾燥させ、コードをコード掛けに掛け、お買上げ時の箱に入れて、湿気の少ない場所に保管する。
- 特にタンクの内部と加湿フィルターは十分に乾燥させてください。
(水が残っていると、カビの原因になります)

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

症　状	確認してください	処　　置
通電しない	電源ボタンを1秒以上押していますか?	電源ボタンを1秒以上押さないと「入」になりません。
	ご家庭のブレーカーが「切」になっていませんか?	ブレーカーを「入」にしてください。
	停電ではありませんか?	復帰を待ってください。
温風が出ない 加湿しない	「入」タイマーになっていませんか?	（☞13～14ページ）
	●タンクに水はありますか? ●給水ランプが点灯していませんか？	（☞8～11ページ）
	●水道水を使用していますか? ●給水ランプが点滅していませんか？	水道水を使用してください。
ボタン操作ができない	チャイルドロックになっていませんか?	チャイルドロックを解除してください。(☞12ページ)
運転しない	表示パネルが次のような点滅または、点灯になっていませんか? E1・E2・E3・E4・E5 E6・E7・E9	使用しないでお買上げの販売店にご相談ください。
	表示パネルが次のような点滅または、点灯になっていませんか? U1・U2・U3・U5・U8	下表「異常表示について」参照
現在湿度が設定湿度より高くなる	機密性の高い部屋や、狭い部屋で使用していませんか?	室内の空気を循環させる

異常表示について

■ 誤った使いかたをすると電源ランプが点滅して運転を停止し、状況に応じて表示パネルが次のように点滅します。（異常状態でなくなると点灯します。）

パネルの表示	原　因　と　点　検	処　　置
U1 U2, U3	**温度過昇防止器がはたらいています。** ●近くに他の暖房器具などがありませんか。 ●フィルターが汚れてつまっていませんか。 ●吸気口がふさがれていませんか。 ●温風吹出口付近に障害物がありませんか。 ●机の下など狭く囲まれた場所で使用していませんか。	① 電源ボタンを「切」にし、さし込みプラグを抜いて、本体をよくさましてください。 ② 点検をして、温度過昇防止器がはたらいた原因を取り除いてください。（☞15ページ）
U5	**対震転倒OFFスイッチがはたらいています。** ●平らな場所で使用していますか。 ●振動を与えませんでしたか。	平らな場所に置き直し、電源ボタンを押して再度「入」にしてください。（☞15ページ）
U8	**水受けがはずれています。**	水受けをセットしてください。 （☞17ページ）

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店かご相談窓口（☞裏表紙）にお問合わせください。

❶保証書（別添）		保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 **保証期間はお買い上げの日から１年です。**
❷修理を依頼されるときは 持込修理		「故障かな？と思ったら（21ページ）」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ずさし込みプラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
	保証期間中	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
	保証期間経過後	修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
❸補修用性能部品の保有期間		当社は、この加湿セラミックファンヒーター補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
❹ご転居されるときは		ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
❺修理料金のしくみ		修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検等の作業にかかる費用です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

仕　様

定　　格	交流100V　　1300W／1250W　50／60Hz
寸　　法	高さ 約 43.3 cm × 幅 約 37.8cm × 奥行 約 24.4 cm
質　　量	約　5.9 kg（タンク空時）
コ　ー　ド	ゴムコード　約　1.8 m
発　熱　体	セラミックヒーター
加　　湿	ハイブリッド気化式加湿、タンク容量約3.4L、連続加湿 約6.8時間
タ　イ　マ　ー	最長12時間　切タイマー・入タイマー・同時予約タイマー
加湿適用床面積(目安)	木造和室　14m^2（8.5畳）まで　　　プレハブ洋室　23m^2（14畳）まで
安　全　装　置	対震転倒OFFスイッチ（光センサー式スイッチ　マイコンOFF方式） 温度過昇防止器　（温度ヒューズ　70℃－15A（温風用） サーミスター） 電流ヒューズ …… 20A

運転状態		強(温風)		弱(温風)		強＋加湿		弱＋加湿		加湿のみ		加湿(節電)	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
電気代(1時間あたり)		約27.1円	約25.7円	約16.9円	約16.5円	約28.6円	約27.5円	約17.2円	約16.9円	約 8.6円	約 8.4円	約 1.1円	約 0.5円
	おやすみ	約24.2円	約22.0円	約15.4円	約14.3円	約24.2円	約22.0円	約15.4円	約14.3円	約 8.1円	約 7.7円	約 0.5円	約 0.9円
消費電力(1時間あたり)		約1230W	約1170W	約770W	約750W	約1300W	約1250W	約780W	約770W	約390W	約380W	約48W	約43W
	おやすみ	約1100W	約1000W	約700W	約650W	約1100W	約1000W	約700W	約650W	約370W	約350W	約22W	約21W
加湿量（室温20℃ 湿度30%）		－	－	－	－	420ml/時	390ml/時	410ml/時	390ml/時	500ml/時	480ml/時	250ml/時	230ml/時
	おやすみ	－	－	－	－	330ml/時	280ml/時	320ml/時	270ml/時	460ml/時	420ml/時	160ml/時	130ml/時

※電気代は室温20℃で測定し、新電力料金目安単価を22円／kWh(税込)として計算しております。
ただし、電力会社およびご家庭の電力使用量、器具の使用条件などにより多少異なります。
※加湿運転時の電気代、消費電力、加湿量とも加湿を「連続」にしたときの値です。
※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL　0120−3121−68
FAX　0120−3121−87
（受付時間）365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120−8802−28
FAX　03−3260−9739
（受付時間）9:00～17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

愛情点検

●長年ご使用の加湿セラミックファンヒーターの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

●電源を入れても、ときどき運転しないときがある。
●電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
●差込プラグ、電源コードなどが異常に熱い。
●焦げ臭いにおいがする。
●その他の異常や故障がある。

お願い

故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。